

表 公 の 否 賛

※採決で賛否が分かれた案件の審議内容です。賛成及び反対の立場から討論がありましたので、その要旨を掲載します。

● 採決結果一覧表 ●

(賛成=○、反対=×)

議席	氏名	会派	発議案 第17号	議案第 3号	議案第 26号	発議案 第18号	議案第 28号	議案第 31号	請願第 16号
1	鈴木 雅彦	奥和会	○	○	○	○	○	×	○
6	及川 佐		○	○	○	○	○	×	○
8	菅原 由和		○	○	○	○	○	×	○
12	千葉 正文		○	○	○	○	○	○	○
15	中西 秀俊		○	○	○	○	○	×	○
16	小野寺隆夫		○	○	○	○	○	×	○
18	中澤 俊明		○	○	○	○	○	○	○
20	藤田 慶則		○	○	○	○	○	×	○
23	渡辺 忠		○	○	○	○	○	×	○
3	廣野 富男	市民クラブ	○	○	○	×	○	×	○
10	高橋 政一		○	○	○	○	○	×	○
11	佐藤 郁夫		○	○	○	○	○	×	○
19	千葉 悟郎		○	○	○	○	×	×	○
24	佐藤 邦夫		○	○	○	○	○	×	○
2	千葉 敦	日本共産党	×	×	×	○	×	×	○
17	菅原 明		×	×	×	○	×	×	○
22	今野 裕文		×	×	×	○	×	×	○
26	千田美津子		×	×	×	○	×	×	○
27	及川 善男		×	×	×	○	×	×	○
4	佐藤 洋	新世会	×	○	○	×	○	○	○
5	菊池 利美		×	○	○	○	○	○	○
7	菅原 圭子		○	○	○	○	○	×	○
9	飯坂 一也	公明党	×	○	○	×	○	○	×
14	阿部加代子		×	○	○	×	○	○	×
13	加藤 清	無会派	×	○	○	○	○	○	○
25	内田 和良	無会派	×	○	○	○	○	○	○
28	小野寺 重	無会派	○	○	○	○	○	×	○
賛成：反対			16:11	22:5	22:5	23:4	21:6	8:19	25:2

※議長は採決には加わりません
(注) 請願は原案についての表決

議案番号	案 件 名
発議案第17号	地域自治区の設置期間延長を求める要望書
議 案 第 3 号	奥州市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
議 案 第 26 号	平成27年度奥州市一般会計補正予算（第2号）
発議案第18号	「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の撤回又は廃案とすることを求める意見書
議案第28号	まえさわ介護センター条例の一部改正について
議案第31号	地域自治区の設置期間の満了に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
請願第16号	農協法改定をはじめとした「農業改革」に関する請願

賛成討論 この改革は、農業の中心から家族農業経営を締め出し、企業の参入を進め、障壁となる全国農協中央会の弱体化、農業委員会の解体を狙うものと強く感じられる。地域の再生・農業の再建という課題から、専業、兼業、

反対討論 一連の改革は、競争力や魅力のある農業に変わるための改革であると考えられる。これからは6次産業化を推進し、規模を問わず青年や女性が農業に魅力を感じるよう働きかけていくことが大事である。改革の方向性の中でより建設的な議論を期待し請願に反対する。

請願第16号 農協法改定をはじめとした「農業改革」に関する請願

自主的な共同組織が状況に併せて積極的に農業に取り組める条件を広げることこそ求められていると考え請願に賛成する。

賛成討論 「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の撤回又は廃案とすることを求める意見書

反対討論 日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増しており、万が一に備えて日本の平和と安全を守るため隙間のない法整備をする必要がある。憲法では日本を守るための武力は認められており、あくまでも専守防衛を堅持したもので憲法9条のもとの自衛の措置の限界を突き詰めたものである。国民を守るために必要な法整備であると

考え意見書に反対する。

賛成討論 国会質疑において、集団的自衛権の行使容認に基づく関連法案は憲法9条を破壊する3つの大問題が浮き彫りになっている。第1は、アメリカが世界のどこであれ戦争に乗り出した際、自衛隊が戦闘地域とされてきた場所に行き、後方支援を行うようになること。第2はPKO法改定という大変な問題を持っていること。第3は、これまでの政府の憲法解釈を根底から覆し、集団的自衛権を発動して、アメリカの戦争に自衛隊が参戦することが考えられる。憲法学者や法律家、多くの国民が憲法違反の法案に反対しており、発議案に賛成する。